

中部圏における高度外国人材の活躍促進に関する報告書

中経連は国際委員会(委員長:大島副会長)において、「中部圏における高度外国人材の活躍促進に関する報告書」を取りまとめた。本報告書では、2021年7月～10月に産学官の関係機関の協力を得て実施した、「企業の高度外国人受入れ意識アンケート」「外国人留学生の日本企業における就労に対する意識アンケート」「外国人就労者の日本企業における就労に対する意識アンケート」の結果と考察、企業における高度外国人材の活躍事例などを紹介し、産学官が取るべき方策について提言を行った。また、付属資料で中部圏の4県1市、5大学、6法人・団体の高度外国人材支援の取り組み状況を紹介した。報告書の概要は以下のとおり。

1 背景

高度外国人材活躍の意義

- 産業構造の転換、グローバル化の進展が加速する中、イノベティブな発想や多様性に富んだ有能な外国人材の活躍は、地域経済発展に不可欠である。
- 事業の国際展開、海外顧客獲得、グローバルビジネス

モデル構築などの各面で、企業の変革が加速され、国際競争力強化につながる。

中部圏の状況

- 在留外国人数は全国有数だが、高度外国人材の雇用が進んでいるとはいいがたい。

2 骨子・目的

中部圏における産学官への実態調査により、課題認識や企業ニーズを検証し、外国人材の活躍事例や各種

取り組み状況などを具体的に示すことで、高度外国人材の雇用拡大・活躍促進に寄与する。

3 課題認識

- 外国人材雇用の意義、企業の求める人材像の明確化
- 外国人材による日本型システムの理解促進
- 日本人従業員の異文化理解・コミュニケーション力向上

- 顕在化していない高度外国人材雇用ニーズの掘り起し
- 企業の雇用スタイル変容(ジョブ型雇用、短期・長期雇用、評価・処遇・賃金制度など)

4 提言内容(概要)

短期的方策

企業

- 外国人向けインターンシップ導入を積極化する。
- 外国人材採用時に明確なスペックを提示する。

大学

- インターンシップ制度の周知と参加頻度向上の奨励

外国人材

- 高度な日本語能力が必須条件であることを踏まえ、低学年次から積極的に学習を開始する。
- 交流会やマッチングイベントに積極的に参加する。

自治体

- マッチングイベントなどを他自治体とも連携して、広域を対象に行う。

長期的方策

企業

- 日本人と同等のメンバーシップ雇用システムとは違う、外国人材の特徴や専門性を重視した採用基準を設ける。
- 外国人材に適用できる、ジョブ型雇用、評価基準、賃金制度を導入する。

大学

- 海外の提携大学などと連携して日本に興味を持つ学生を増やし、留学生増加を誘発する。

自治体

- 外国人の住みやすい環境、社会基盤を整備する。

問い合わせ先: 国際部

内容の詳細については、中経連ホームページ(<https://www.chukeiren.or.jp>)をご覧ください